



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 クリヤマ株式会社

コード番号 3355 URL <http://www.kuriyama.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 服部 兵衛

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画本部長

(氏名) 芦田 敏之

TEL 06-6305-5721

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	17,141	7.2	1,172	9.5	1,288	1.7	879	△6.5
23年12月期第2四半期	15,994	△0.9	1,070	9.5	1,267	16.2	940	32.0

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 1,066百万円 (9.6%) 23年12月期第2四半期 972百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	81.84	—
23年12月期第2四半期	87.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	25,592	10,668	41.5
23年12月期	24,348	9,753	39.9

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 10,628百万円 23年12月期 9,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	14.00	14.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,300	5.8	1,880	19.3	2,000	5.8	1,250	△7.5	116.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	11,150,100 株	23年12月期	11,150,100 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	409,008 株	23年12月期	409,008 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	10,741,092 株	23年12月期2Q	10,741,221 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項については、添付資料の3ページを参照してください。

なお、平成24年10月1日を自営に会社分割の方式により持株会社体制に移行する予定となっておりますので、平成24年12月期以降の個別業績予想につきましては投資情報としての重要性が乏しいと判断し、記載を省略しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、個人消費、設備投資等、持ち直しの動きがあり、景気は緩やかに回復を続けました。世界経済においては、欧州の財政金融危機による景気停滞等を背景に、中国やインド等の新興国は景気失速感があるものの、米国においては堅調な個人消費等を理由に景気は緩やかに回復を続けました。

このような経済環境下、当社グループの連結売上高は171億41百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は11億72百万円（前年同期比9.5%増）、経常利益は12億88百万円（前年同期比1.7%増）、四半期純利益は8億79百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[北米事業]

北米の景気回復により各種ホース（産業用、農業用、飲料用等、多種多様なホースを取扱）の販売は堅調に推移し、売上高は74億2百万円（前年同期比3.7%増）となったものの、原油価格上昇に伴う原材料高の影響を受け、営業利益は6億94百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

[産業資材事業]

建機顧客の好調な生産を背景に量産機械用資材の販売が好調な他、プラント用資材の販売も好調に推移しました。これらの結果、売上高は43億52百万円（前年同期比11.7%増）となり、営業利益は6億15百万円（前年同期比31.3%増）となりました。

[建設資材事業]

公共施設で使用される道路橋梁用資材の販売が減少したものの、鉄道施設等で使用される「ブレイルタイル」や「エーストン」等の販売が増加した他、港湾土木資材の大型受注に伴い、売上高は35億92百万円（前年同期比3.5%増）となりました。利益面においては、道路橋梁用資材販売減少や価格競争激化に伴う販売価額低下により、営業利益は53百万円（前年同期比26.9%減）となりました。

[スポーツ施設資材事業]

主要取扱商品である「タラフレックス」（弾性スポーツ床材：国際バレーボール連盟 国際テニス連盟等認証品）、「スーパーX」（全天候型舗装材：国際陸上競技連盟認証品）の販売は前年同期を上回ったものの、モンドターフ（人工芝：国際サッカー連盟認証品）については価格競争激化により工事採算性が低下しました。これらの結果、売上高は8億67百万円（前年同期比6.6%増）となり、営業利益は91百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

[その他]

中国国内において中国販売子会社の量産機械用資材の販売が増加した他、国内ホテル事業（新大阪駅近隣でビジネスホテルを経営）のインターネット販売が好調な結果、売上高は9億26百万円（前年同期比37.2%増）となり、営業利益は40百万円（前年同期 営業損失3百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて5.1%増加し、255億92百万円となりました。これは、主に現金及び現金同等物が12億91百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、149億24百万円となりました。これは、主に長期借入金が2億63百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて9.4%増加し、106億68百万円となりました。これは、主に利益剰余金が7億28百万円、為替換算調整勘定が96百万円それぞれ増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より12億91百万円増加し、46億83百万円となりました。主な理由は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は18億4百万円（前年同期は9億57百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益12億81百万円等が要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1億83百万円（前年同期は2億57百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出96百万円等が要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は3億47百万円（前年同期は6億15百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額1億50百万円等が要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月17日に発表しました「平成23年12月期 決算短信」の平成24年度業績予想に修正はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,984,538	5,275,587
受取手形及び売掛金	5,832,275	5,567,407
商品及び製品	4,703,388	4,856,037
仕掛品	163,512	187,578
原材料及び貯蔵品	393,497	388,204
その他	636,010	443,204
貸倒引当金	△26,444	△20,456
流動資産合計	15,686,777	16,697,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,684,201	2,614,842
その他（純額）	2,688,632	2,665,412
有形固定資産合計	5,372,834	5,280,255
無形固定資産		
のれん	52,083	51,141
その他	215,762	210,928
無形固定資産合計	267,845	262,069
投資その他の資産	3,020,942	3,352,864
固定資産合計	8,661,622	8,895,189
資産合計	24,348,399	25,592,754
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,597,004	5,874,689
短期借入金	3,135,201	2,697,478
1年内返済予定の長期借入金	1,568,674	1,585,903
未払法人税等	129,578	190,004
賞与引当金	2,628	11,880
その他	677,015	803,919
流動負債合計	11,110,101	11,163,875
固定負債		
長期借入金	2,278,830	2,542,115
退職給付引当金	485,707	486,247
役員退職慰労引当金	162,736	177,801
資産除去債務	90,291	91,058
その他	467,688	462,933
固定負債合計	3,485,254	3,760,157
負債合計	14,595,356	14,924,033

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	783,716	783,716
資本剰余金	839,940	839,940
利益剰余金	9,993,863	10,722,524
自己株式	△124,280	△124,280
株主資本合計	11,493,239	12,221,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,310	140,504
繰延ヘッジ損益	△550	△123
為替換算調整勘定	△1,830,218	△1,733,904
その他の包括利益累計額合計	△1,779,458	△1,593,523
少数株主持分	39,262	40,344
純資産合計	9,753,043	10,668,721
負債純資産合計	24,348,399	25,592,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	15,994,428	17,141,139
売上原価	11,776,146	12,696,587
売上総利益	4,218,282	4,444,551
販売費及び一般管理費	3,147,548	3,272,374
営業利益	1,070,734	1,172,177
営業外収益		
受取利息	6,071	9,508
受取配当金	11,278	13,084
持分法による投資利益	118,915	131,671
還付加算金	71,791	—
保険解約返戻金	43,364	—
その他	30,042	33,835
営業外収益合計	281,463	188,101
営業外費用		
支払利息	49,273	41,523
為替差損	20,688	13,865
その他	14,994	16,089
営業外費用合計	84,957	71,478
経常利益	1,267,240	1,288,799
特別利益		
貸倒引当金戻入額	23,969	—
特別利益合計	23,969	—
特別損失		
固定資産売却損	525	426
固定資産処分損	—	1,563
固定資産除却損	700	—
投資有価証券評価損	26,803	—
ゴルフ会員権評価損	7,029	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	50,500	—
減損損失	—	5,762
和解金	15,000	—
特別損失合計	100,559	7,751
税金等調整前四半期純利益	1,190,650	1,281,048
法人税等	469,390	400,929
法人税等還付税額	△218,735	—
少数株主損益調整前四半期純利益	939,995	880,118
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△506	1,081
四半期純利益	940,501	879,036

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	939,995	880,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,027	78,977
繰延ヘッジ損益	1,236	426
為替換算調整勘定	41,258	92,265
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,139	14,265
その他の包括利益合計	32,327	185,935
四半期包括利益	972,323	1,066,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	972,829	1,064,971
少数株主に係る四半期包括利益	△506	1,081

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,190,650	1,281,048
減価償却費	221,721	227,029
減損損失	—	5,762
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	50,500	—
のれん償却額	2,054	2,004
持分法による投資損益(△は益)	△118,915	△131,671
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25,482	539
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24,198	△17,164
受取利息及び受取配当金	△89,141	△22,593
支払利息	49,273	41,523
為替差損益(△は益)	△315	△1,205
売上債権の増減額(△は増加)	748,868	300,023
たな卸資産の増減額(△は増加)	△334,994	△108,525
仕入債務の増減額(△は減少)	△535,343	304,892
その他	131,030	106,382
小計	1,316,674	1,988,046
利息及び配当金の受取額	88,278	95,730
利息の支払額	△49,540	△57,363
法人税等の支払額	△398,365	△221,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	957,046	1,804,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△322,000	△247,000
定期預金の払戻による収入	322,000	247,000
有形固定資産の取得による支出	△200,839	△96,196
有形固定資産の売却による収入	10,657	12,461
無形固定資産の取得による支出	△10,633	△8,036
無形固定資産の売却による収入	11	—
投資有価証券の取得による支出	△56,817	△45,017
短期貸付金の回収による収入	—	7,400
子会社株式の取得による支出	—	△50,000
その他	484	△3,957
投資活動によるキャッシュ・フロー	△257,136	△183,346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	276,701	△462,857
長期借入れによる収入	200,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△885,488	△826,948
社債の償還による支出	△70,000	—
自己株式の取得による支出	△40	—
配当金の支払額	△129,123	△150,156
その他	△7,450	△7,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	△615,401	△347,412
現金及び現金同等物に係る換算差額	38,631	17,133
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	123,140	1,291,049
現金及び現金同等物の期首残高	2,804,613	3,392,538
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,927,753	4,683,587

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	北米 事業	産業 資材事業	建設 資材事業	スポーツ 施設資材 事業	合計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,136,920	3,895,590	3,472,663	814,056	15,319,231	675,197	15,994,428	—	15,994,428
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,516	364,441	—	—	365,957	48,875	414,832	△414,832	—
計	7,138,436	4,260,032	3,472,663	814,056	15,685,189	724,072	16,409,261	△414,832	15,994,428
セグメント 利益又は損失	724,972	468,776	73,109	101,437	1,368,296	△3,070	1,365,226	△294,491	1,070,734

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものはホテル事業および中国事業であります。

2. セグメント利益の調整額△294,491千円には、セグメント間取引消去10,080千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△304,572千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	北米 事業	産業 資材事業	建設 資材事業	スポーツ 施設資材 事業	合計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,402,202	4,352,298	3,592,668	867,467	16,214,636	926,502	17,141,139	—	17,141,139
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,758	489,222	—	—	495,980	53,044	549,025	△549,025	—
計	7,408,960	4,841,520	3,592,668	867,467	16,710,617	979,547	17,690,164	△549,025	17,141,139
セグメント 利益	694,774	615,699	53,419	91,645	1,455,538	40,260	1,495,798	△323,620	1,172,177

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものはホテル事業及び中国事業であります。

2. セグメント利益の調整額△323,620千円には、セグメント間取引消去30千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△323,651千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産の減損損失額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成24年7月18日開催の取締役会において、子会社を設立することを決議いたしました。

1. 子会社設立の目的

建機、農機を始めとした顧客のグローバル化に伴い、その対応に注力してまいりましたが、今後も生産活動の海外移転が加速し、特にアジア地区での生産が拡大するものと予測されます。このことから、当社グループはタイ王国を含むアセアン地域において、より一層密着した商品供給と営業活動を行い、当社顧客のニーズに 대응していくため、タイ王国に新会社を設立するものであります。

2. 子会社の概要

- (1) 会社名 Kuriyama (Thailand) Co., Ltd. (仮称)
- (2) 所在地 タイ王国 チョンブリ県 (予定)
- (3) 事業内容 量産機械用資材等の販売
- (4) 資本金 6,000万バーツ
- (5) 出資比率 クリヤマジャパン株式会社 100%
- (6) 設立 平成24年10月1日 (予定)